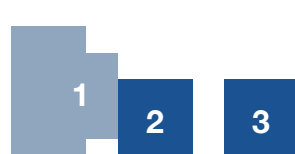




左：6月初め、持ち上がった関善酒店右：関善の写真集の表紙



Like 0

ポスト

間口十四間、奥行き十三間。明治三十八年竣工の巨大な商家が持ち上がった！

今回は、「NPO関善賑わい屋敷」が行った「関善酒店」の曳家についてご紹介します。

建物を解体することなく、基礎から切り離して移動することを曳家(ひきや)と言います。

2004年5月25日。秋田県鹿角市花輪六日町通り。明治38年に建てられた造り酒屋「関善」の建物が、宙に持ち上がった。柱に縦横に取り付けられた太い鉄骨組が、16箇所のポイントで徐々にジャックアップされる。万全の注意を払い、ゆっくり持ち上げていく。浮いた建物の下に角材を積んでかませながら、翌朝までには、建物全体が基礎から30センチほど浮いた。

日本の伝統的な建物の足元を見てみよう。地面をつきかためた上に、まず建物の基礎となる石を据える。石は柱が立つところにだけに据え、その上に、石の凹凸にぴったり添うように柱の足元を削って乗せる「石場立て」が基本だ。時代が進むと、並べた玉石や切り出した石の上に「土台」という横木を置き、そこに柱が立つ穴を掘り、柱を差して立てるようになる。柱の足元の納め方が統一されたことは造り方の合理化であった。家の外周には土台をまわし、内部の柱は礎石に直接乗せている家が、今残る民家には多い。

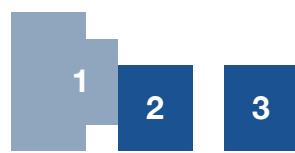
「石場立て」にせよ「土台」にせよ、基礎の上に、木造の建物が「乗っかっている」だけだ。コンクリート造の基礎にアンカーボルトなどでがっちり固定される現代の建物とは、対照的だ。乗っかっているだけだと、地震の時にも、建物は基礎とは独立して動く。地震に遭ったものの、建物が基礎からすべり落ちて倒壊を免れた例が、伝統的な建物に見られるのはそのためだ。落ちた建物は、引き上げて、また乗せてやれば、住み続けることができる。

今でこそ「曳家」というと大層なことなように思えるが、ほんの少し前までは、隣に蔵を増築する、家相や地盤が悪いなど、さまざまな理由で曳家が行われ、各地に曳家職人がいた。油圧ジャッキが発明されていなかった頃はコロとテコとで、まさに人力で、行われていた。そうしてまでも、建てた家は壊さず残して使おう、という強い思いがあったのだ。

地上から浮いた建物の下に、レールが通され、その上に乗ったコロが、建物全体を受けた。そして、5月29日、建物は道路から3.8m後方に移動した。きしみ音ひとつなく、滑らかに、静かに動いたという。

Like 0

ポスト



補強のために、鉄骨が柱の根元に張り巡らされる。いよいよこれからが曳家の本番。



関連する記事はこちら



込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記



第15期 木の家ネット総会 高知大会 ~会員発表篇~



工務店・小田貴之さん(オグ工務店)：木の家のプロデューサー



里山循環大工：池山琢馬(一峯建築設計)



3.11後を生き抜くコミュニティの力 牡鹿半島 福貴浦より

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

2019年6月15日
やさしくて強い、理想の家を求めて：アイ設計研究室 大前泰秀さん

2019年5月15日
磨き上げた職人技で、木を生かす：西岡建築一級建築士事務所 西岡健一さん

2019年4月20日
大工と左官の職人プロジェクトチーム 総合建築植田 植田俊彦さん 俊司さん

2019年4月10日
本物の家づくりを、自由に、楽しんで：株式会社木神楽 高橋一浩さん

2019年1月5日
新春特集 2018年のベストショット集

2018年12月29日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part3 大工の声&今後の課題編

2018年12月17日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part2 実録編

2018年12月14日
板倉仮設住宅 移設ものがたり part1 概要編

2018年9月4日
番匠 剣持工務店 副棟梁・剣持大輔さん

2018年8月15日
鶴岡総会予告 その1 散るより、生き延びよ！

人気のある記事

伊勢神宮遷宮・御袖始祭り：300年の大木を伐る！
16件のビュー

冬の温熱調査合宿報告
15件のビュー

日本人の暮らしと木
13件のビュー

大工たちによる「家民し」の記録
12件のビュー

設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して
11件のビュー

第三回これ木連フオーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告
11件のビュー

「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート
11件のビュー

古川 保の熊本市川尻町 震災日誌
11件のビュー

込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記
11件のビュー

サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート
10件のビュー

この記事のタグ

このまちなみを次世代に

大工以外の職人たち

現場レポート

顔の見える関係

同じタグがついた別の記事

2009年1月26日
伝統木造設計法構築に向けて、実物大実験！

2009年12月25日
速報！アンケートの全回答とまとめ

2008年11月28日
第八期木の家ネット総会・小江戸川越大会のレポート

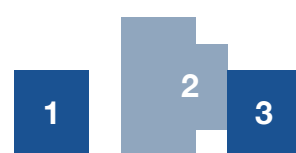
2008年3月27日
このまちなみにずっと残っていてほしいあの家も「既存不適格」？

2003年12月25日
土壁告示

北海道・東北	関東(東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東(東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	



宙に浮いた関善酒店のコミセ部分。土台から柱が抜けているのがわかる。



Like 0 ポスト

花輪のシンボル「コミセ」 道路拡幅にひっかかる

行政では保存に難色。民間でなんとかするしかない！

なぜ、このような大がかりな曳家工事がなされたのか。江戸末期に創業した関善酒店は、鹿角屈指の造り酒屋。豪商として地元の政治、経済、文化、祭事においてリーダーシップをとっていた。明治37年の大火で全焼した後に建て直したのが今の建物だが、20年ほど前に酒造りはやめており、今では改装した蔵で小売だけを営んでいるので、主屋は使っていない状態である。

かつて、この六日町通りに面して、1キロ以上にわたって「こもせ（小店）」と呼ばれる木造のアーケードが続いていた。こもせの屋根をかたちづくるのは、それぞれの商店の建物そのものから下屋として張り出した「庇（ひさし）」である。雪の時に傘無しで往来できるだけでなく、農家のおばちゃんが簀を広げて作物を売ったり、子供たちの遊び場になったりと、町の賑わいに貢献していた。昭和58年以降の県道の拡幅工事にともない、こもせはひとつ、またひとつと消えていった。

さて、関家もこの拡幅工事にあたり、移転か取り壊しの決断を迫られる。造り酒屋であった当時は奉公人を含め大勢が起居していたが、当主の関善一さん夫婦と、高齢になった両親と住むために関東から戻ってきた娘のより子さんの、たった3人でこれだけの建物を維持管理するのは容易なことではない。「残してもうちではどうにもできない。解体すればどんなに楽だろう、と日々心が揺れた」とより子さんは語る。

関家の心が解体に傾きかけていた頃、町のひとびとによる「関家建物の保全活用を望む市民有志の会」が結成された。2003年3月4日、同会は四千人以上もの署名簿を携え、市に関善の主屋とこもせを無償で譲り渡し、後世のために使ってもらおう、と申し入れた。市の回答は行政での保存は受け入れられないというものであった。同月の26日、七千人にまで膨れあがった署名簿をもって再度申し入れを行ったが、あくまでも「民間民営方式で」という市の基本姿勢が変わることはなかった。



全ての工事が終わり、すっかりきれいになった関善酒店。整えられたコミセの前方、セットバックした部分に砂利が敷かれている。やがては、ここは県道に変わる。

6月末頃、据え付け作業。ゆっくりと降ると、古い建物が新しい土台の上にびったりとはまった。今後の利活用のために、引き続き改修工事を行った。

Like 0 ポスト



間口十四間を誇る関善酒店の正面。これだけの大きさの木造建築が壊れる事なく移動した事に改めて驚く。複数の写真をつなぎ合わせたために、ところどころ歪んで見える部分がある。



関連する記事はこちら



込み栓角ノミ 復活！松井 鉄工所訪問記



第15期 木の家ネット総会 高知大会 ～会員発表篇～



工務店・小田貴之さん (オグ工務店)：木の家づくりのプロデューサー



里山循環大工：池山琢馬 (一峯建築設計)

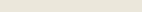


3.11後を生き抜くコミュニティの力 牡鹿半島 福貴浦より

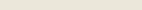
木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

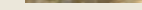
2018年3月27日
伝統建築に携わるすべての職人に光を



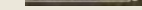
2018年2月7日
「伝統建築工師の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」ユネスコ無形文化遺産候補選定のお知らせ



2018年1月2日
新春特別企画 2017年のベストショット



2017年12月14日
第17期木の家ネット総会：倉敷大会 - 民家改修と曳家-



2017年10月14日
気候風土適応住宅のチラシができました！



2017年9月4日
家のお風呂 こうやって作る、こうやって保つ



2017年8月8日
家にお風呂が入るまで



2017年6月30日
気候風土適応住宅のスヌメ



2017年6月3日
掛川総会 3



2017年5月31日
掛川総会 2



人気のある記事

伊勢神宮遷宮・御袖始祭り：300年の大木を伐る！
16件のビュー

冬の温熱調査合宿報告
15件のビュー

日本人の暮らしと木
13件のビュー

大工たちによる「家戻し」の記録
12件のビュー

設計士・丹羽明人さん(丹羽明人アトリエ)：納得できる答を探して
11件のビュー

第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告
11件のビュー

「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート
11件のビュー

古川 保の熊本市川尻町 震災日誌
11件のビュー

込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記
11件のビュー

サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート
10件のビュー

この記事のタグ

- このまちなみを次世代に
- 大工以外の職人たち
- 現場レポート
- 顔の見える関係

同じタグがついた別の記事

- 2009年1月26日 伝統木造設計法構築に向けて、実物大実験！
- 2004年6月25日 火の用心 (後編)
- 2016年1月14日 第15期 木の家ネット総会 高知大会 ～会員発表篇～
- 2007年4月1日 設計士・古川保さん(古川設計室)：木の家づくりは仕組みづくり
- 2012年11月30日 第12期木の家ネット総会 栃木大会

北海道・東北	関東(東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東(東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	



関善酒店保存をめぐる一連の新聞記事。

まちのにぎわいを
取り戻すために
NPO 関善賑わい屋敷

1 2 3

Like 0 [✕](#) [ポスト](#)

「賑わい」は みんなの手でつくりだすもの

市民の知恵と行動力による保存と活用へ

行政は関善酒店の保存を行政の事業としては受け入れなかったが、有志の会は「志のある人たちの協力を得ながら、保存第一に活動」という考えで一致。関家は県と移転保証契約を締結、建物を県道にかからないよう下げたことを約束した。

それからの有志の会の活動がめざましかった。150人は入れる関善酒店の建物で、精神的にイベントを打ったのだ。皮切りは、2003年6月、いろいろの残る関善の座敷での

「昔っこ聞かす会」。参加者は昔話を聴きながら、旧家のただずまいを満喫。続いて、8月には津軽三味線の会、9月には大正琴の会。定期市での買い物帰りの人もつめかけ、コミセにまで人があふれた。11月には「じょい」（＝常居）とよばれる居間でのフリマも開かれた。一方、機会をとらえては地元や遠方からの団体向けに建物見学会を繰り返し開き、関善酒店保存の建築的意義を実感する人の裾野を全国に広げていった。

関善の建物に入ると、巨大な吹き抜けの土間になっている。頭上は、縦横に組まれた梁が何重にも積層する豪壮な小屋組空間。イベントや見学会に関わった人が皆「関善ファン」になっていった。2003年暮れには、土間で餅つき。親子連れで賑わい、関善にとっては久しぶりの、活気ある年越しとなった。

年明けの2004年2月。ある計画が公表された。関家が曳家費用を負担し、「NPO関善賑わい屋敷」が曳家終了後の主屋とコミセを関家から買い上げ、改修、活用していく、というのだ。NPOが負担する取得費の1000万、改修費の1000万について募金が呼びかけられ、いよいよ4月には、曳家に先立つ工事が始まった。

そして8月。改修工事も終わり、関善酒店は、関家からNPO関善賑わい屋敷の手へと移った。「古きよきものを残し、活用を」と願った有志市民、「建物が貴重だから残すのではない。町の賑わいを取り戻すために役立てたい」という関家、双方の思いが実った。今後、鹿角にあって市民が主役のまちづくりの中核を担っていくことが期待される。十和田湖方面へ行かれる折には、ぜひ立ち寄ってほしい。

NPO関善賑わい屋敷のWebサイト

<http://sekizen.s50.xrea.com/>

今回の掲載の写真のほとんどは、このサイトにあるものを許諾を得て使っています。 撮影：74studio

NPO関善賑わい屋敷は、平成16年末まで特別賛助募金を募集しています。また、随時NPO会員も募集しています。詳しくは[このページ](#)をご覧ください。

関善の写真集が2種類販売されています。詳しくは[このページ](#)をご覧ください。

Like 0 [✕](#) [ポスト](#)

1 2 3

関善酒店を活用したイベントを紹介する新聞記事。現在は貸しスペースとしての利用も可能。



関連する記事はこちら



込み栓角ノミ 復活！松井 鉄工所訪問記



第15期 木の家ネット総会 高知大会～会員発表篇～



工務店・小田貴之さん (オダ工務店)：木の家 づくりのプロデューサー



里山循環大工：池山琢馬 (一峯建築設計)



3.11後を生き抜くコミュニティの力 牡鹿半島 福貴浦より

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

- 2016年12月23日 [掛川総会](#)
- 2016年8月2日 [込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記](#)
- 2016年6月21日 [熊本震災レポート 2](#)
- 2016年6月9日 [大工たちによる「家戻し」の記録](#)
- 2016年5月21日 [熊本震災調査レポート](#)
- 2016年4月28日 [古川 保の熊本市川尻町 震災日誌](#)
- 2016年3月31日 [2/16 衆議院第二議員会館 調査報告会レポート](#)
- 2016年1月27日 [地域型住宅の省エネルギーを探る～2016.1.17 京都フォーラム報告](#)
- 2016年1月14日 [第15期 木の家ネット総会 高知大会～会員発表篇～](#)
- 2015年11月13日 [工務店・小田貴之さん \(オダ工務店\)：木の家づくりのプロデューサー](#)

人気のある記事

- [伊勢神宮遷宮・御始祭り：300年の大木を伐る！](#) 16件のビュー
- [冬の温熱調査合宿報告](#) 15件のビュー
- [日本人の暮らしと木](#) 13件のビュー
- [大工たちによる「家戻し」の記録](#) 12件のビュー
- [設計士・丹羽明人さん\(丹羽明人アトリエ\)：納得できる答を探して](#) 11件のビュー
- [第三回これ木連フォーラム「伝統構法はこれからどこへ向かうのか？」の報告](#) 11件のビュー
- [「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート](#) 11件のビュー
- [古川 保の熊本市川尻町 震災日誌](#) 11件のビュー
- [込み栓角ノミ 復活！松井鉄工所訪問記](#) 11件のビュー
- [サツキとメイと私の家：愛・地球博レポート](#) 10件のビュー

この記事のタグ

- [このまちなみを次世代に](#)
- [大工以外の職人たち](#)
- [現場レポート](#)
- [顔の見える関係](#)

同じタグがついた別の記事

- 2001年11月25日 [工務店・渡邊隆さん\(風基建設\)：五十年後、百年後に木の家が残る環境をつくること](#)
- 2004年6月25日 [火の用心 \(後編\)](#)
- 2012年11月30日 [第12期木の家ネット総会 栃木大会](#)
- 2016年1月14日 [第15期 木の家ネット総会 高知大会～会員発表篇～](#)
- 2009年11月27日 [「職人がつくる木の家」づくりを未来につなげるアンケート](#)

地域別つくり手リスト

北海道・東北	関東 (東京以外)	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
北海道	栃木県	新潟県	岐阜県	滋賀県	鳥取県	福岡県
青森県	群馬県	富山県	静岡県	京都府	岡山県	佐賀県
岩手県	埼玉県	石川県	愛知県	大阪府	広島県	長崎県
宮城県	千葉県	福井県	三重県	兵庫県	山口県	熊本県
秋田県	神奈川県	山梨県		奈良県	徳島県	大分県
山形県	関東 (東京)	長野県		和歌山県	香川県	
	東京都				愛媛県	
					高知県	